

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

| | | | |
|-------|---|------|-------------------|
| 開催日 | 平成 20年 11月 19日(水曜日) | 開催時刻 | 13時 28分から 14時 40分 |
| 会議名 | 丸子地域協議会(平成 20年度第 8回) | | |
| 出席委員 | 浅倉委員、生田委員、片桐委員、木下委員、甲田委員、櫻井委員、笹井委員、笹沢委員、滝沢(俊)委員、武井委員、竹花委員、土屋委員、成澤(啓)委員、成澤(み)委員、本間委員、村松委員、柳原委員 【欠席】倉沢委員、滝沢(真)委員、宮坂委員 | | |
| 市側出席者 | ・三好丸子地域自治センター長、佐藤センター次長兼地域振興課長、沢山課長補佐兼地域政策担当係長、中村地域政策担当、澤山地域政策担当 | | |

会議次第

- 1 開会(佐藤センター次長)
- 2 会長あいさつ(片桐会長)

前回、丸子地域公有土地建物の活用について皆さんに集中討議をしていただきました。本日は答申案をご確認いただき答申書が作成できればと思っています。また、グループ討議を今まで回を重ねてきましたけれども、そろそろまとめていただき次回の会議には全体会議ができるようにもっていきたいと思います。よろしく願いいたします。

3 会議事項

(1) 丸子地域公有土地建物の活用について

[答申案の説明](事務局)

9月 12日に諮問し、グループ討議と 10月 24日には集中討議をいただき、答申案としてまとめた。丸子地域協議会長から母袋市長宛の答申書 答申書(案)平成 20年 9月 12日付 20丸地発第 3887号を持って諮問のありました件について下記のとおり答申します。記 1 件名 丸子地域公有土地建物の有効活用について 2 答申 この度諮問のありました件につきましては、何れも丸子地域にとって将来にわたる重要な課題と認識し慎重に審議しました。地域住民の中心市街地に対する思いを受け止め、また市が持続的に発展することを切望し、諮問にそって推進されますよう以下の意見を付して答申します。市当局におかれましては、市民の思いを受け止めていただき、一層の地域振興にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。(1)カネボウ跡地について <付帯意見>・地元商店街の振興について積極的な支援と配慮を要望する。・土地開発公社の保有する土地について積極的に売却、活用を図るよう要望する。・旧食堂棟等既存施設については、地域の商工団体等が行う地域の活性化や住民の福祉に資する事業に活用できるよう配慮いただきたい。(2)丸子ファーストビルについて <付帯意見>・情報館については、当初の設置目的が達成したと思われるので、今後のあり方を検討されたい。・勤労者福祉センターは、街中心地にあることから、より多くの市民が利用出来るよう名称

及び設置目的の見直しを検討されたい。・商工会の行う商店街の活性化事業に行政の積極的な支援を要望する。以上の内容で答申書の内容としたい。

別紙資料： 丸子地域公有土地建物の活用についての答申書（案）

主な質疑・意見の内容

（委員）旧食堂棟の既存施設というのは、旧需用品倉庫も入っているか。

（事務局）現在、喫茶店に活用されている旧需用品倉庫と、子育てサロンとして使っている旧組合事務所と旧食堂棟の3棟を指している。

（委員）ファーストビルの答申書（案）付帯意見「勤労者福祉センターの名称の見直し」というのは、今ここに初めて出てきたが今まで議論されたか。

（事務局）勤労者福祉センターという名称で現在3階の部分を活用しているが、討議の中で「より多くの人たちに使ってもらえるように」とか「子ども達中心の運営を考えられないか」というご意見をいただいた。柔軟性、弾力性を図る意味で、勤労者福祉センターでなくてもいいのではないかと考えて入れた。補助事業で運営しているものでなく名称変更は可能。より広範な皆さんに使っていただく名称はほかにあるのではないかと考える。

（委員）情報館はどこを指すのか。

（事務局）2階にあるコンピューターを入れて使っているところが情報館という名称。

（委員）この答申書についてはいいが具体的なことで、地図上ではよくわからないが、カネボウ跡地の貸す予定のところと旧食堂棟との間がかなり狭いので、活用するには、駐車場やイベント等のためかなりの距離を空けることを考慮していただきたい。旧食堂棟の活用については活用委員会の立ち上げを要望する。その後で商業施設として貸すということでない、北側の活用が思うようにできないということがあるのでは。

（事務局）市有地およそ6348平方メートル。今年の「げんきまるこ」はかなり北側まで食い込んでやったが、一昨年まで商工会の皆さんが張ったテントの地点までが既に購入済の市有地。それから北側を商用地としてお貸ししたらどうかということで、げんきまるこのテントを張っていたところまでは確保できている。

（委員）ファーストビルの付帯意見1番と2番が「検討されたい」という表現になっている。こちらへフィードバックされてくるという前提ならこの表現でいいと思うが、今後の取組みでそこに参画するなり、フィードバックしていただいてこちらの意見を申し上げるとか、そういう意味合いのものをもう少し入れたほうがいいのではないか。

（事務局）市長への答申なので市当局において検討されたいということ。丸子地域に係わる問題は、丸子地域自治センターに戻ってくるので、戻ってくれば地域協議会に相談するということになる。

（委員）商工会の役員会で、カネボウ跡地とファーストビルの件がセットになっているようにあたかも見える。セットでないことを勘違いのないようお願いしたい。

諮問に対する答申

- ・ 答申書の内容を確認し決定。本日付けで丸子地域協議会長から母袋創一市長あての答申書作成。片桐会長から三好センター長へ答申書の手渡し。
- (センター長)皆様方ご論議いただいた内容を尊重する形で、これから市としてこの問題について積極的に進めてまいりたい。また、付帯意見も踏まえながら進めてまいりたい。
- (会長)私から一言、この答申書のファーストビルについて「商工会の行う商店街の活性化事業に行政の積極的な支援を要望する。」とあるが、商工会長、副会長に、ぜひとも行政の支援が受けられるよう計画を真剣に考えていただくよう要望する。

4 調査研究事業

(1) 専門部会討議内容の報告・提案

[専門部会の報告]

- 依田川リバーフロント市民協働事業計画(案)について、専門部会リーダーから説明。
- (専門部会リーダー)11月13日に専門部会を開いた。資料「依田川リバーフロント市民協働事業計画(案)」のとおり。今、来年度の予算編成の時期で、実際にどのような活動をどんなふうに立ち上げるかということについて検討した。実行組織の立上げで、この専門部会でなく、地域住民から選定しながら実行委員会を早急に立ち上げたらどうだろうか。実行組織が立ち上がることによって、からでいろんなことを研究し、それから体育館の北側が実際に整備されることが望ましいのではないか。この事業計画(案)について、全体会議で皆さんからいろいろな意見を出していただき検討していただきたい。依田川リバーフロント市民協働事業の実行組織の立上げを提案しているが、人数的なものを全体会で検討していただきたい。団体等、これ以外にこういう団体も入れたらどうですかというものがあればご意見をいただきたい。
- (委員)みんなで働きかけていくということではないか。市民の人たちに良く知ってもらい、そこに賛同したり思いのある人に集まってもらうのが良いと思う。
- (会長)引き続き専門部会の委員の皆様にはご検討を願いたい。

資料 依田川リバーフロント市民協働事業計画(案)

(2) 全体会議

[地域協議会のあり方について]

- 協議会の役割についての提案「自治会、議会との連携や協力体制をどう築いていくか検討をいただきたい」
- (委員)具体的に意見交換をする場を設けていくべきではないか。地域協議会の位置付けとか役割に関しては、住民の方からも「わからない」という意見もいただいている。初めての組織でありこれから作っていくものだからという説明はするが、そのことについて全体会議で十分話し合う機会もないので、この中で話し合うことと、それから自治

会や議会とどのような関係付けを持って地域を発展させるために連携していくのかもう少し明確を望みたい。

(会 長) 前期のときにもこの意見が出たが、地域協議会の委員は、それぞれの団体から選出されている。丸子地域 26自治会区の中からは 6の自治会長が代表で出てきているから、特別、自治会と話し合いを持つことは疑問。議会との連携については、私どもが申込んで議会との話し合いをするのではなくて、議員から我々のところへ申し込まれて意見を聞きたいというのが本来の姿、議員の仕事だと思っている。その点ぜひやらなければいけないかどうか。前回の議会との話し合いは、私どもから申入れをしたのではなく、向こうから申入れをしてきた。

(委 員) それでは例えば、地域協議会でさまざま検討され提案を市にしたいという場合に、議会を通して図るべきことがたくさん出てくると想定されるが、具体的な案件が起きてきた場合に、議会に働きかけるなり何らかのアクションをするという形をとったほうがスムーズだと考えているのか。具体的な案件のある前に、連携という形でやるというのは、ちょっと筋違いではないかという意見か。

(会 長) 最終議決機関だから、議会との連携をとったほうが良いということか。

(委 員) それも含めて、地域協議会がただ諮問に対して答申するというだけではなくて、この地域の将来を考えてさまざま提案していきたいときに、さまざまその場面で想定されるのではないか。今議会側がどういうことがこの地域にとって問題であるか、こちらがどう考えているかということも含めて、話し合いの場を持っておいたほうがスムーズではないか。

(委 員) 依田川リバーフロントについては専門部会になったが、全体でやるのではなくて、あるテーマについて専門的にグループを結成してやっていこうということに一応はなっているわけですね。現在、丸子地域協議会が住民に十分理解されて受け入れられていないとすると、もっとみんなに理解されて、働きがもっと影響力も出てくるような形で、活動が進められるようにするためにはどうするかといことを分科会の一つのテーマとして取上げ、その中の一部として自治会とか議会の問題も出てくるだろうという観点で考えたほうがいいのか。自治会とか議会にそんなにこだわる必要はないのではないか。

(委 員) 確かに地域協議会の位置付けというのは非常に難しいと思う。例えば、リバーフロントの件については、前進させていくために、一生懸命今まで考えておられた人たちが大勢いるのではないかと、そういう人たちが集まって、本気に考えてもらうほうが非常に良いと思う。地域協議会の中では賛成はするが、そんなに自分としては熱意がないといったそれぞれ温度差があるような気がする。有志でもいいが、実行委員会の人たちによって検討していただくといいというのが良い案だと思う。

(委 員) 今の件ちょっと誤解があると思う。リバーフロントの専門部会というのはあくまで仕掛けをやるのであって、いろいろな地域のグループとか組織とかを出来るだけ参画してもらって、一つの運動にするための働きかけをやるんだという位置付けになって

いる。ですからこの専門部会は、未来永劫にやりたい人がこの中でやるというのではなくて、地域の一つの運動として立ち上がっていくためのお手伝いをするのだと考えている。そうご理解いただきたい。

(委員) 問題点があればそれをここへ出して、それが地域協議会で取上げるべきかどうかをここで話すべき。個々にいろんな問題がある。地域まちづくり方針の7項目の中から、自分はじゃ図書館を早く作ろうということであれば図書館の実行委員会をぜひ立ち上げようとか。私は、カネボウ跡地の旧食堂棟についてぜひ早急に活用の実行委員会を立ち上げるようお願いしたいということで提案した。個々の委員から自分で取組みたい問題を提起していただき、それについて全体会として検討し実行に移す、そういう流れを作るのが大事ではないか。

(委員) 先ほど委員が話されたことが非常にポイント整理されたなと感じる。この地域をどう発展させていくのか、そして住民とのつながりをどう広げていくかということも含めて、地域協議会のあり方を専門的に検討していただく機会なり、専門部会等という形をとっていただければ非常に進みやすいと思う。その中で自治会や議会との関係も出てくるのではないか。

(会長) 委員から提案された旧食堂棟の活用については、活用策について今後の課題として考えてもらいたい。それでは、委員から提案の、自治会や議会との連携・協力体制については、会議の進め方そのものことだと思うので、またグループに分かれて討議をしていただく中で、今後のあり方、協議会の進め方等を検討していただければと思う。

(委員) グループ討議について、何をいつまでにどう進めるかということだけ明確にしたい。

(会長) グループ討議も会を重ね、ぼつぼつ各グループでテーマを上げてもらいたい。依田川リバーフロントの提案もグループ討議から上がってきたのを全体会議で話し合い提案した。具体的にこういうものを討議していただきたいというものがなければ、もう一回ぐらいグループ討議をやらなければいけないのかなと思う。テーマがあれば全体会議で持ち上げてまいりたい。

(委員) 今せっかくここに過去4回の資料がある。この中から選定してはどうか。次の分科会はこれに集中してくださいとか、そういう指示があれば、私たちが頭の中が整理できるが、そうでないと何を話しするんだらうとなってしまう。それから、昨年度まとめた地域まちづくり方針の7項目のどこに入るのかなど。どこへの的を絞ればいいのかわからない。

(委員) 地域協議会のこと市民もよくわかってない。そのためにも、どんなことをするかっていうことを、きちっと決めなくてはいけないと思う。例えば、丸子地域の活性化、街おこしのこと、子育てのことを考えようと分科会で話しをして、それを全体会でこんなふうにもっていったらどうでしょうかって言うこともできる。権限はないが、提案は出来ると思う。

(会長) グループ討議の中で、こういうことをやりたいとか、こういうことをやったら

どうかという意見は出ているか。

(委員) 出ている。そのためにやっていると思っている。我々第2グループの今までの話して出ていたのは、一つは街の活性化あるいは交通、教育、子育てそういうものを一つのテーマにしてやっていったらどうかという話と、二つ目は、先ほどから出ている地域協議会をどうやってもっと地域に認識してもらい、有効に活動できるかっていうことを一つのテーマにする、その二つぐらい出ている。

(会長) ほかの分科会はどうか。具体的に出ていけば全体会議で統一して今回はこれで行きましょうと絞れるが、ただ漠然と会議をやってもまとまらない。

(委員) あと1回か2回でグループ討議の結論を出せと言っていたら出るのは。

(委員) 先ほど話したが、せっかくここにそれぞれ話し合われた内容があるので、この意見の中からまとめたらどうか。

(会長) グループごと今まで出てきた意見をまとめて、それぞれ絞っていただいた課題を全体会でどうしていくかを検討する材料にしたい。責任者の方にまとめていただければと思うがどうか。

委員から「いいです」という声あり

(委員) その際、依田川リバーフロント専門部会の会議又別にとということか。

(委員) グループ討議の後、依田川リバーフロント専門部会に集まったほうが良い。

資料 グループ討議内容

(3) 専門部会・グループ討議の開催について

[グループ討議]

グループに分かれて責任者を決めて、テーマを絞っていく。

- ・ 第1・2グループ 第3会議室
- ・ 第3・4グループ 第4会議室
- ・ グループ討議終了後、引き続き依田川リバーフロント市民協働事業専門部会を開催。

5. その他

- ・ 次回の地域協議会の日程について

・ 次回の地域協議会については後日連絡。

6. 閉会